

# TOPIX等の見直しの概要

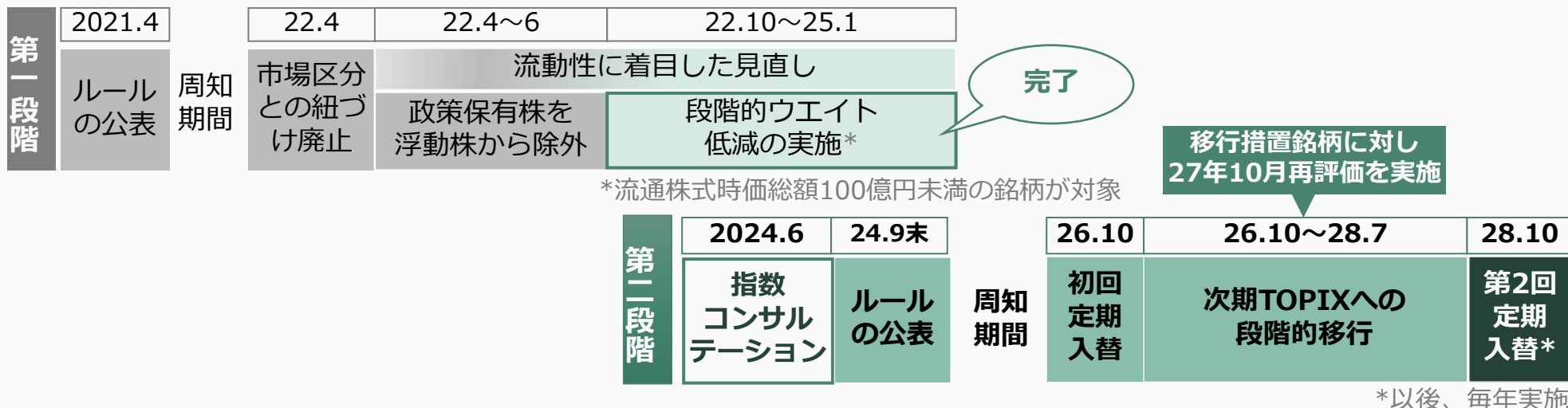
株式会社 J P X 総研

2025年10月



- TOPIX（1969年算出開始）は日本株の市場平均を示すベンチマークとして国内外で定着しています。
- 2022年4月の東証の市場区分再編を契機に取り組んでいる、TOPIXの投資対象としての機能性を高める見直し（第一段階の見直し）が2025年1月末に完了します。
- これに続く第二段階の見直しとして、TOPIXの巨額の連動資産（約110兆円（2024年3月））や幅広い利用を踏まえて指数の連続性を確保しつつ、**全市場区分（プライム市場・スタンダード市場・グロース市場）を対象として流動性をより重視して銘柄の定期入替を実施するなど、広範網羅性や投資対象としての機能性を更に高める**見直しに着手します。
- 第一段階の見直しと同様、次期TOPIXへの円滑な移行や市場影響の緩和の観点から、**周知や移行の期間を十分確保し、移行は段階的に実施**します。

## (TOPIXの見直しの全体的な流れ)



【参考】 上場制度の対応

▲ 市場区分の再編  
(2022.4)

▲ 資本コスト等を意識した  
経営のお願い (2023.3)

▲ 市場区分の再編に係る経過措置銘柄の  
改善期間終了 (3月期銘柄) (2026.3)

# 次期TOPIXルール（主な変更内容）

	現行TOPIX	次期TOPIX									
<b>対象市場</b>	プライム市場 *新市場区分再編時の構成銘柄で、スタンダード市場やグロース市場を選択した銘柄は現行TOPIXに含まれる。	プライム市場・スタンダード市場・グロース市場									
<b>定期入替</b>	なし	年1回、10月最終営業日（基準日：8月最終営業日）									
<b>選定基準</b>	なし *市場区分再編時などにおいて流通株式時価総額が100億円未満の銘柄の段階的ウエイト低減を実施中	<ul style="list-style-type: none"> <li>下記の流動性基準により銘柄を定期入替 <table border="1" data-bbox="957 562 1908 811"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>追加基準</th> <th>継続基準*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年間売買代金 回転率</td> <td>0.2以上</td> <td>0.14以上</td> </tr> <tr> <td>浮動株時価総額 の累積比率</td> <td>上位96%以内</td> <td>上位97%以内</td> </tr> </tbody> </table> </li> <li>追加基準はTOPIXの構成銘柄でない銘柄に適用し、継続基準は既にTOPIXの構成銘柄である銘柄に適用</li> <li>* 指数の安定性や投資効率の観点から継続基準(バッファ・ルール)を導入</li> </ul>	指標	追加基準	継続基準*	年間売買代金 回転率	0.2以上	0.14以上	浮動株時価総額 の累積比率	上位96%以内	上位97%以内
指標	追加基準	継続基準*									
年間売買代金 回転率	0.2以上	0.14以上									
浮動株時価総額 の累積比率	上位96%以内	上位97%以内									
<b>非定期の追加</b>	プライム市場への新規上場・市場区分の変更銘柄	プライム市場・スタンダード市場・グロース市場への新規上場銘柄で、浮動株時価総額が、同累積比率上位95%に含まれる銘柄の最低浮動株時価総額を上回る銘柄									

※ 非定期の除外（上場廃止、整理銘柄、特別注意銘柄）、ウエイトキャップ（10%）に変更はありません。

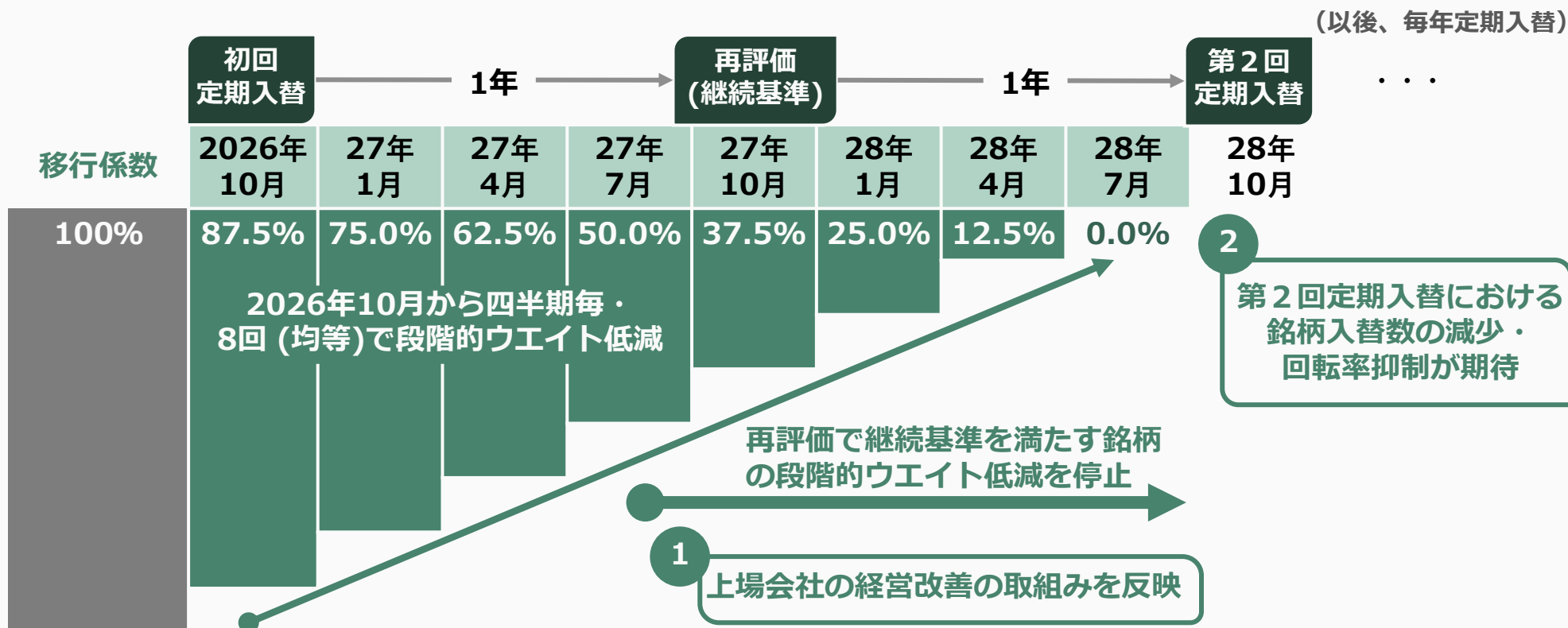
※ 年間売買代金回転率は、定期入替基準日が属する月以前直近12か月間の月次の売買代金回転率の合計を用います。月次の売買代金回転率は、「（日次の東証の売買立会での売買代金の中央値×営業日数）÷ 月末最終営業日の浮動株時価総額」とします。

※ 浮動株時価総額の累積比率は、「整理銘柄又は特別注意銘柄でなく、年間売買代金回転率の条件を満たす銘柄群において浮動株時価総額が大きい銘柄から累積した浮動株時価総額÷当該銘柄群の浮動株時価総額の合計」とします。

# 次期TOPIXへの移行措置

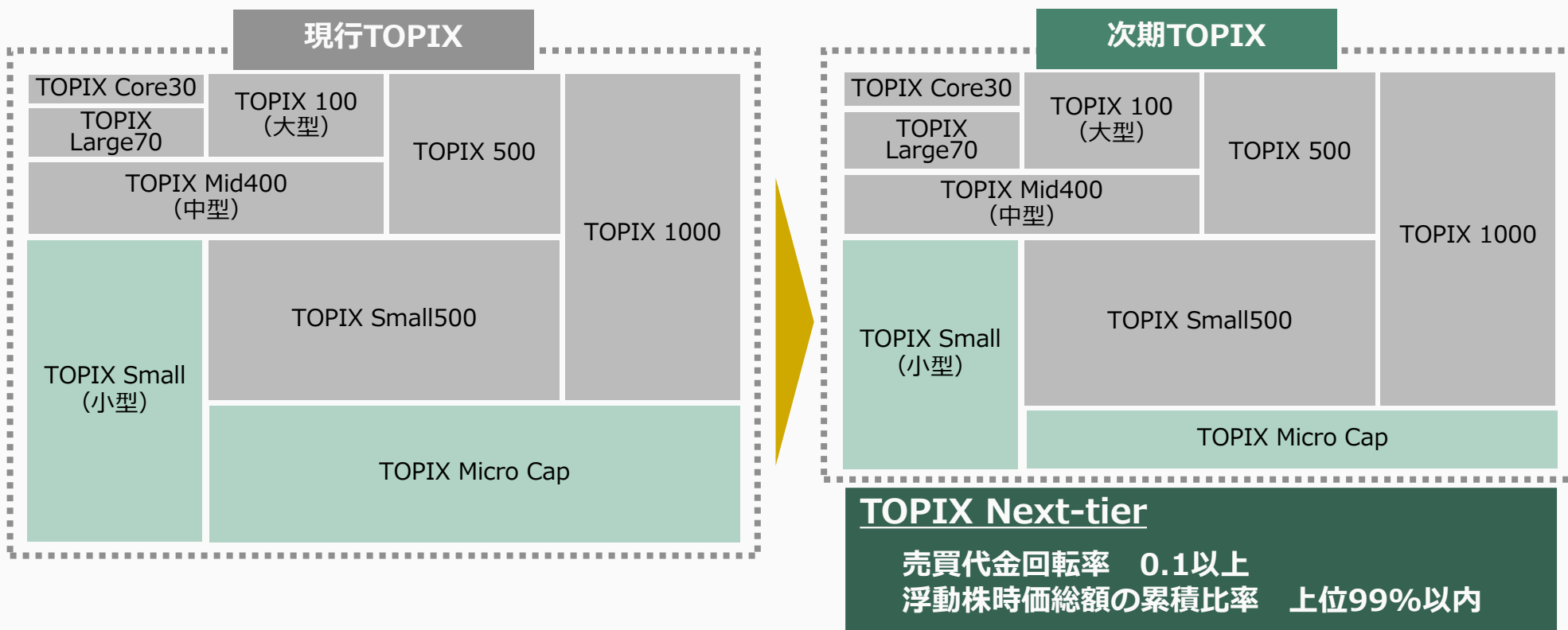
- 次期TOPIXへの円滑な移行のため、市場影響を緩和する観点から、新ルールの周知や移行期間を十分に設けるとともに、**移行を段階的に進めるなどの移行措置**を講じます。
- 移行措置に関し、第一段階の見直しと同様に**移行措置銘柄に対する再評価を実施**します。
  - ✓ 初回の定期入替は2026年10月、2回目の定期入替は2028年10月に実施
  - ✓ 初回の定期入替において継続採用されない銘柄（移行措置銘柄）は、**四半期ごと8段階でウェイトを低減**
  - ✓ 2027年10月に再評価を行い、**継続基準\*を満たす銘柄の段階的ウェイト低減を停止**

\*年間売買代金回転率：0.14以上、浮動株時価総額の累積比率：上位97%以内



## 「TOPIX Next-tier」の算出開始

- TOPIXに選定されない銘柄（移行措置銘柄を含む）を対象に、一定の流動性が認められる銘柄からなる「**TOPIX Next-tier**」をTOPIXの初回定期入替（2026年10月）にあわせて新たに算出開始します



## 東証グロース市場250指数の見直し

現行

見直し案

構成銘柄

グロース市場上場銘柄のうち、上場時価総額上位250銘柄

TOPIX銘柄の扱い

構成銘柄から除外

構成銘柄の対象（TOPIXとの重複が可能となる）

# 試算結果（2025年8月最終営業日基準）

- 2025年8月最終営業日を基準日とした試算においても、**指数の連続性の確保しつつ、広範網羅性や投資対象としての機能性の向上を確認**

	現行TOPIX (2025年8月末時点)	次期TOPIX (2028年7月末時点)	現行TOPIXとの比較
浮動株時価総額（※1） の合計	580兆円	573兆円	➤ ほぼ維持
市場カバー率 （※2）	約97.6%	約96.5%	➤ ほぼ維持
浮動株時価総額 （中央値）	約455億円	約1,014億円 （※3）	➤ 約2倍に増加
1日あたり売買代金 （中央値）（※4）	約3.2億円	約7.6億円	➤ 約2倍の増加
銘柄数 （※5）	約1,700銘柄	約1,100銘柄	➤ スタンダード、グロース市場から約50銘柄が採用

※1 浮動株時価総額とは上場時価総額に浮動株比率を掛け合わせた値。浮動株比率とは「浮動株（各企業の上場株式のうち、実際に売買される可能性の高い株式（上場株式から固定株（有価証券報告書に記載の大株主上位10名の保有株、自己株式、政策保有株式等）を控除したもの）の比率」で、JPX総研が銘柄ごとに算定。

※2 市場カバー率とは、プライム市場、スタンダード市場、グロース市場の全銘柄の浮動株時価総額の合計に占めるTOPIX構成銘柄の浮動株時価総額の合計の割合。

※3 浮動株時価総額の累積比率上位97%以内の最小値は約280億円。

※4 1日あたり売買代金は25年3月から8月までの6か月間の平均。次期における最小値は約5,200万円。

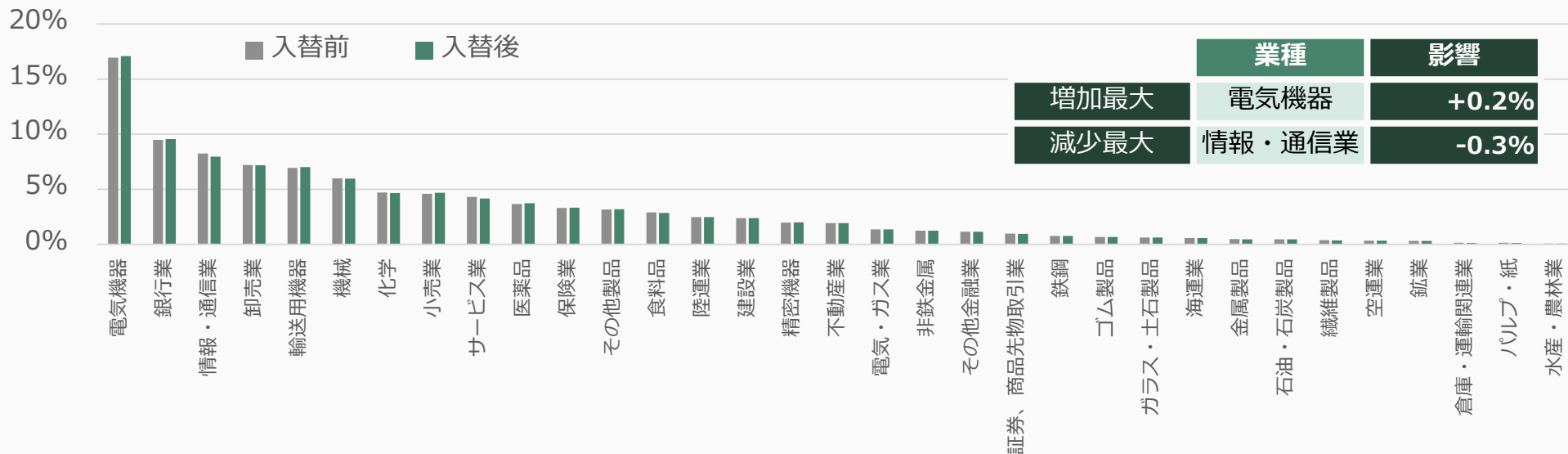
※5 市場区分の再編時の構成銘柄（旧東証市場一部上場銘柄）で、スタンダード市場やグロース市場を選択した銘柄は現行TOPIXに含まれる。

次期TOPIX銘柄数には、2024年8月基準初回定期入替を実施し、2025年8月基準再評価で継続基準を満たした銘柄を含む。

なお、次期TOPIXの銘柄数は、前回試算（2024年8月）から約20銘柄減少し、十の位での四捨五入の関係で約1,100銘柄と記載。

# 各特性の連続性 (2025年8月最終営業日基準)

## 業種特性 (※業種別のウエイト集計結果)



## 規模特性 (※規模別のウエイト集計結果)

	現行 TOPIX	次期 TOPIX	影響
TOPIX Core30(超大型)	41.1%	42.4%	+1.2%
TOPIX Large70 (大型)	24.8%	25.9%	+1.2%
TOPIX Mid400 (中型)	26.4%	25.3%	-1.1%
TOPIX Small (小型)	7.7%	6.4%	-1.3%

※ 次期TOPIXについて、25年8月末の浮動株時価総額順に簡易的に判定

## ファンダメンタルズ特性

	現行 TOPIX	次期 TOPIX	影響
PER (加重)	16.9	16.9	-
PBR (加重)	1.54	1.55	+0.01
配当利回り (加重)	2.17%	2.16%	-0.01%

※ 当期純利益及び純資産、配当金は25年6月期までの決算短信ベース、時価総額は25年8月最終営業日時点。

※  $PER(加重) = \sum(時価総額 \times FFW) \div \sum(連結当期純利益 \times FFW)$

※  $PBR(加重) = \sum(時価総額 \times FFW) \div \sum(連結純資産 \times FFW)$

※  $配当利回り(加重) = \sum(配当金総額 \times FFW) \div \sum(時価総額 \times FFW)$

# (参考) 指数概要 (TOPIX Next-tier)

項目	内容
算出方法	時価総額加重方式
算出開始日	2026年10月最終営業日
対象となる銘柄	プライム・スタンダード・グロース各市場の内国普通株式であって、TOPIXに選定されていない銘柄（移行措置銘柄を含む）
定期入替	年1回、毎年10月最終営業日（基準日は8月最終営業日） ※ 初回の定期入替は2026年10月最終営業日、2回目の定期入替は2028年10月最終営業日に実施
銘柄選定基準	1. 売買代金回転率0.1以上の銘柄 2. 1.を満たす銘柄のうち、浮動株時価総額の累積比率が上位99%以内の銘柄
非定期の追加	なし
非定期の除外	整理銘柄指定・上場廃止・特別注意銘柄指定
銘柄数	約800銘柄*

\*構成銘柄数は試算値であり、非定期の追加等や定期入替時の状況によって変動する。

# (参考) TOPIXの見直しの流れ

(市場区分の再編前)

2022年4月

約2,200銘柄

構成銘柄数  
※

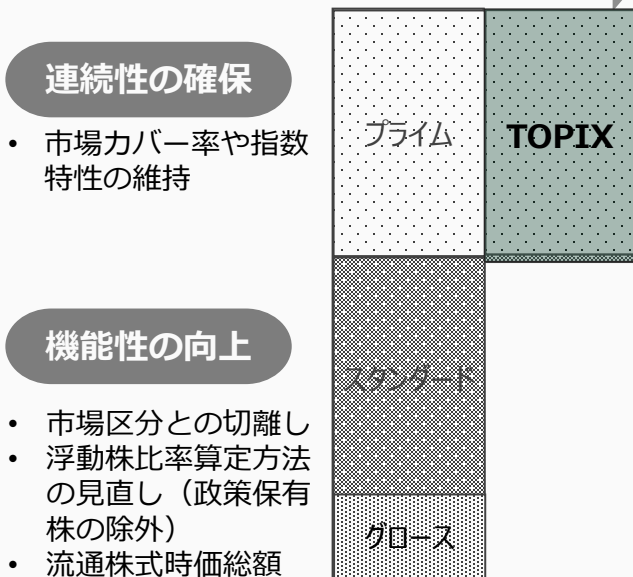


(第一段階の見直し完了時)

2025年1月

約1,700銘柄

第一段階の見直し



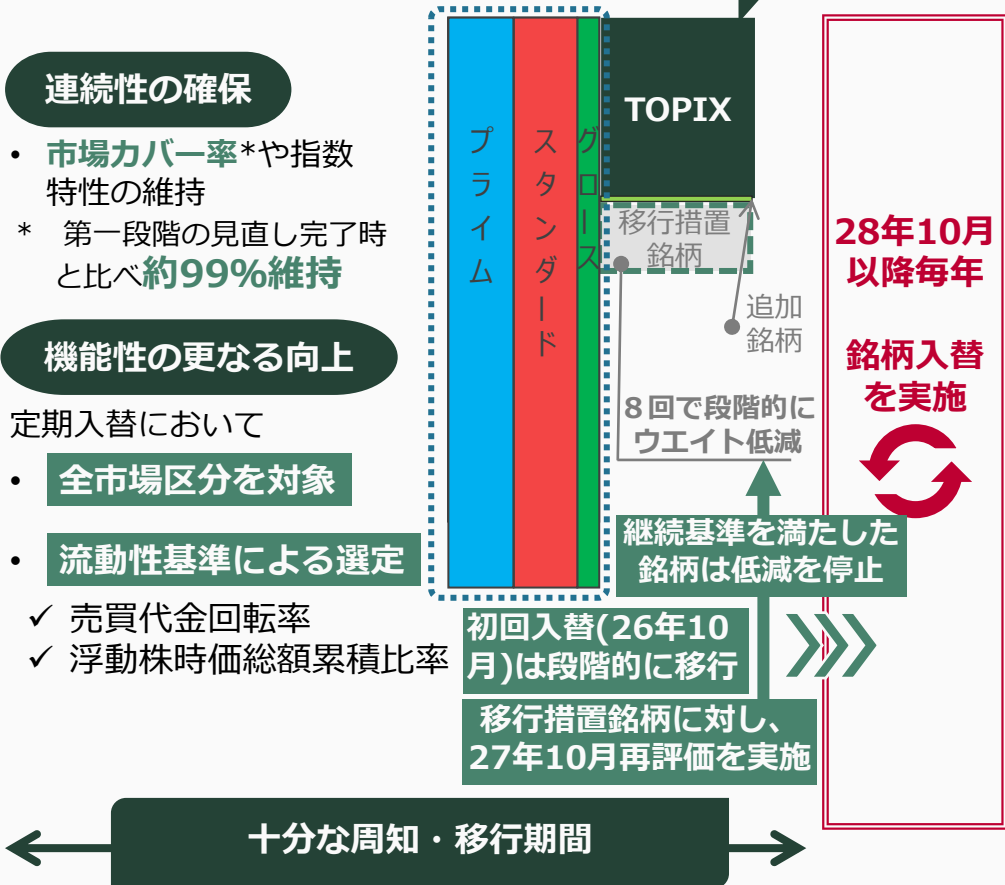
十分な周知・移行期間

(第二段階の見直し完了時)

2028年7月

約1,200銘柄

第二段階の見直し



十分な周知・移行期間

【参考】上場制度の対応

▲市場区分の再編 (2022.4)

▲資本コスト等を意識した経営のお願い (2023.3)

▲市場区分の再編に係る経過措置銘柄の改善期間終了 (3月期銘柄) (2026.3)